

ヒヤリハット（収集、運転、その他作業中）

■ヒヤリハットについて、アンケートの御協力、誠にありがとうございました。

みなさまより情報提供頂いた事例をまとめました。是非、社内教育等に有効活用頂ければと思います。

※同一の御意見の場合、他の事業者様の御意見と集約しておりますので、ご了承ください。

■収集作業中

	何処で	何をしている時	何がどうした	対策
1	収集作業現場で	廃棄物を廃棄物置場から収集車まで運ぼうとして、歩道を渡っている時	自転車がかなり速いスピードで目の前を通り、ぶつかりそうになった。	見通しの悪い歩道を渡る際は、左右の確認を徹底する。
2	廃棄物集積場で	廃棄物を収集している際に	通行人に気付かず、ぶつかりそうになった。	作業行動の区切りごとに確認を行う。 死角になりそうな場合は声出しを行い、接触防止に努める。
3	廃棄物置場近くにて	塵芥車で廃棄物を巻き込んでいる時に	袋が破裂し内容物が飛散した。その際に車両・通行人に飛散しそうになった。	収集の際に破裂の可能性がある場合は、ホッパを閉めて巻き込むなど、飛散防止に努める
4	排出事業場で（取引先）	収集作業中	割れたガラスが袋から飛び出し、手を切創した。	排出事業者へ分別の徹底を依頼。割れ物は別途容器へ保管していただき、産業廃棄物として処理を依頼した。

■収集作業中

5	集積場で	塵芥車で収集時、少し車両から離れた際	人が興味本位で車両に近づいてきた。	周辺の状況を確認してから離れる。ホッパを開けっ放しにしない。
6	処理センター構内で	荷下ろしのため、車両から降りる時	路面に滑って転びそうになった。	降りる際は飛び降りたりせずによりゆっくり焦らずに降りる。
7	ルート回収で	剪定枝を塵芥車に積み込んでいた時	枝が顔をかすめそうになった	慌てず作業する。
8	スーパーの納品口で	カゴ台車に積載している段ボールを回収中	段ボールと塵芥車の回転盤に手袋が挟まれ、手袋のみ巻き込まれた。 もう少し奥に入っていたら指が挟まれ怪我をしていた。	ホッパ内には手を入れないようにする。
9	商業施設の納品口で	袋に入った廃棄物を回収中	塵芥車で巻き込んだ後に発煙が発生した。原因はモバイルバッテリー（リチウム電池）が回転盤により過度な力が加わり発熱した。	排出事業者を対象にリチウム電池の排出をしないよう、案内文を作成し、お送りした。

■収集作業中

10	川崎市内で	雨の日に作業している時	落ちていたビニール袋を踏み、転倒しそうになった	落ち着いて周囲の確認をする。
11	排出事業者の事業系一般廃棄物保管場所で	廃棄物収集時	ごみ袋を両手で1個ずつ持ったが重たくて、腰を痛めそうになった。	急に持ち上げず、荷の重さをしっかりと確認してから持ち上げる
12	排出事業者の事業系一般廃棄物保管場所で	廃棄物収集時、枝葉類を収集して掴んだ際	枝が手に刺さり怪我をしそうになった。	今後は切断面や枝に注意し、慌てず・気を抜かず作業する。
13	収集先路上にて	廃棄物を回収して、次の廃棄物を取りに行く時	車両の影から自転車が走り抜けていった。	車の影から人や自転車（車両等）が出てくるときもあるので意識して作業する。
14	一般廃棄物回収現場で	塵芥車に積み込み時に不適合物を発見し取り除いた際に	回転盤に手を挟まれそうになった。	停止ボタンを押してから不適合物を取り除く。
15	廃棄物保管場所で	一般廃棄物の入った袋を運んでいる時	斜路で滑りそうになった。	作業靴は定期的に点検し、靴底のすりへった作業靴は交換する。

■収集作業中

16	回収先で	回収作業中（塵芥車に積み込み前）	強風で荷台の扉が勢いよく開いてしまい、自分や周りの人に扉が当たりそうになった。	強風の際は荷台の扉のロックだけでなく、鎖等で補強する。
17	顧客の排出通路で	雨の日に2階からの運び出しの時	階段で滑って下まで滑り落ちた。	滑りにくい靴を履く。
18	街路樹の剪定場 所で	塵芥車に剪定枝を積み込み作業をしていた時	剪定枝が作業着に引っ掛かり、回転部に巻き込まれそうになった	必要に応じて剪定枝をこまめに積み込む等の対策をしながら作業する
19	お客様廃棄物置き場で	資源物を回収している時	古紙がバラバラになって飛散した。	無理な物量を運ぼうとせず、飛散、落下、体への負担等を考慮した物量とする。
20	回収現場で	塵芥車に積込んだ廃棄物の袋を破ろうと思い、カッターの刃を出した時	カッターの刃を長く出しすぎて手を切創しそうになった。	カッターの刃を出す時は必要最小限の長さにする。
21	処分場で	ダンプのあおりを開けている時に	大きい丸太が荷台から落ちて、足に当たりそうになった。	不安定なものは特にしっかりと固定する。

■収集作業中

22	廃棄物処理施設で	廃棄物運搬用コンテナに、飛散防止シートを掛ける時	車体のステップに足を掛けていたが、足を滑らせ転落した。	ステップに乗らず、地上からコンテナ上部まで届くカギ棒を使用してシートを掛けれるよう、対策した。
23	川崎市内の臨海部で	塵芥車に切り枝を積み込む際	枝が折れたはずみで車道上に飛び出した。通行車両が居なかったため大事には至らなかった。	切り枝を積み込む時に周囲の状況を確認するとともに、出来るだけ短く切断して積み込む。

■運転中

	何処で	何をしている時	何がどうした	対策
1	川崎市内の駅周辺道路で	信号が変わり、車両を発進した時	横から信号無視した車両が走行してきた。	信号が青であっても、出てくるのではないかとの意識を持ち、安全確認をした後に発進する。
2	一般道で	深夜走行中、排出事業場へ入るために右折進入をした際に	無灯火の自転車が直進してきて、避けた際にガードレールに接触。	深夜走行は想定外の事故も起こりかねる為、周囲の安全確認をして、走行する。
3	生活道路で	収集するため、幅寄せして停車時	後方からの自転車がすり抜けて行った。	幅寄せする前にサイドミラー及びバックモニターで確認する。
4	川崎市内で	空き缶ペットボトルの収集中	ドアを開けようとしたら逆走の自転車とぶつかりそうになった。	ミラーだけでなく周囲の目視確認も行う。
5	川崎市内で	空き缶ペットボトルの収集中	踏切内で自転車がよろけて、車両に接触しそうになった。	徐行及びサイドミラーの確認。

■運転中

6	作業現場で	回収後、運搬車両に乗り作業現場を出る時	自転車と歩行者が急に飛び出してきた。	一時停止の標識が無かったが、作業現場を出る際は一時停止して左右の確認をする。
7	商店街の十字路にて	直進して走行していたところ	左方から出てきた車両がこちらを確認せずに左折してきた。	商店街ということもあり、徐行して走行していたので、相手方の表情等も見えていた。ブレーキをかけることもなく、安全に走行できた。
8	信号の無い交差点で	進行方向に直進中	左側からウインカーを出さずに合流してきた車とぶつかりそうになった。	常に周囲の車や歩行者の動きを確認し、もしかしたら～するかもしれないという意識をもって運転を行う。
9	一般道路片側一車線で	廃棄物収集運搬中に前方左側を走行していた自転車を追い抜こうとした際	自転車が運搬車両に寄ってきて接触しそうになった。	自転車を追い抜く際、万が一の転倒にも備え、距離を十分にとり、徐行しながら追い抜く。
10	排出事業者施設（商業地域にある商業施設）の廃棄物保管庫で	車両を後進して出庫する際に	無理に横断する歩行者、自転車が多く接触しそうになった。	・車両のバックモニター設置 ・後進時のスピードをゆっくり、安全確認して後進
11	処理センターからの帰路	運転中	後ろの巻き込み口の蓋が開いている事に気が付いた。	走行前に蓋が閉まっているか確認する。

■運転中

12	坂道で	車両を駐車した際	車両がさがった。	輪止めを購入して設置した。
13	多摩川土手で	刈草を収集車で収集中	収集車が、雨の影響でぬかるみにはまってしまった。	雨天時並びに雨天後は土手に、車両の乗入りを禁止する
14	小学校近辺及び住宅街・狭い道路で	車両走行中	人が左右確認もせず横断歩道を渡ったり、猛スピードで自転車走行するケースが多い。	見通しの悪い交差点は特に注意する。
15	排出事業者の構内で	構内速度8キロで走行	大型車両待機場所から急に出て来た大型車両と接触しそうになった。	出来るだけ大型車両待機場所から離れて走行する。(構内速度を厳守したまま。)
16	事業所内	収集作業が終わり、塵芥車を駐車する時	塀に車の後部をぶつけた。	塀付近に駐車する場合は、ある程度の距離を取り駐車する。(近づけすぎい)
17	構内で	車両を発進させた時	車止めを取り忘れて発進し、ヒヤリとした。	乗車前に、一周点検を必ず実施する。

■運転中

18	構内で	車両を後進させた時	壁や他の車両に接触しそうになる。	誘導員を配置し、後方の確認等を徹底する。
19	一般道の交差点で	車両を運転中	歩行者側の信号が赤信号にもかかわらず、歩行者が駆け足で横断した。	赤信号でも横断する人がいるかもしれないと思って、前方や左右をしっかり確認する。

■その他

	何処で	何をしている時	何がどうした	対策
1	自社の洗車場で	塵芥車の架装部の上段部を洗浄中	作業手順を簡略したため、足元を滑らせ転倒。その際、手をついて怪我をした。	・手順書の再周知 ・架台を用意しての洗浄 ・不安全行動を慎み、安全作業に対する注意喚起
2	休憩室から	事務所へ戻る際	廃棄物管理票を紛失（路上で発見）。	管理票は必ず手提げ袋に入れる。
3	会社構内で	パッカー車の内部を水洗いしている時	近くに人がいることに気付かず、ホッパを開閉し、その人が挟まれそうになった。	ホッパを開閉する前に人払いを徹底する。
4	自社敷地内で	車両点検中、回転部に引っ掛かったごみを取ろうとした時	回転部が停止しておらず、手首を巻き込まれ負傷。片手でスイッチを切り、最悪は免れた。	回転部に手を入れる場合は、必ずエンジンを切る。気を抜かず、基本を徹底する。
5	廃棄物処理施設で	バックホーにて木屑解体作業中に	木屑が飛散し、バックホー運転席のガラスが割れ、オペレーターがそのガラス片で切創した。	バックホーのガラスに、専用の金網を製作し取り付け、直接ガラスにあたらないように改善した。

■その他

6	自社廃棄物処理施設で	廃棄物を重機で運搬作業中	死角にあったモノに重機が接触した。	死角になる危険性がある場所にミラーを設置、場内徐行看板設置し、安全作業をするための対策をした。
7	プラント構内で	廃棄物を吊り上げ作業中に	重さで吊り荷が振られて車両と接触しそうになった。	介錯ロープ使用徹底、誘導員を配置する。
8	プラント構内で	重機旋回させた時	作業員の頭上50cm付近を旋回してしまった。	旋回時の周囲の確認徹底。グーパー合図等でオペレーター、作業員、誘導員がしっかり認識しあう。
9	プラント構内で	車両誘導中	大型トレーラーとお客様の車両が接触しそうになった。	誘導員は、大きな声や大きなジェスチャーで指示を出す。